

皇室の安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書

皇室は、長い歴史と伝統を受け継ぎながら、国民統合の象徴として国民に寄り添い続けてこられた。我が国の安寧と発展のためにも、皇位継承を将来にわたって安定的に維持していくことは極めて重要な課題である。

しかしながら、現在の皇族数は減少が続いており、将来にわたり皇室の活動を安定的に支えていくことが難しくなることが懸念されている。この問題は、先送りすることのできない国家的な課題であり、速やかな対応が求められている。

皇室の在り方は、国民全体で将来を見据えて考えるべき重要な課題である。皇族数の減少という現実我真摯に向き合い、これまで積み重ねられてきた議論を尊重しながら、国民の理解を得て、速やかに法整備を進めることが求められており、多くの国民の願いでもある。

こうした中、国会では、衆議院議長及び参議院議長のもとで各党・各会派による協議が重ねられ、「女性皇族が結婚後も皇族の身分を保持すること」及び「旧宮家の男系男子を養子として皇族に迎えること」を柱とする「立法府の総意」が取りまとめられ、政府へ提出された。

これを受け日野町議会は、国会及び政府に対し、皇室の安定的な皇位継承と皇室活動の維持を図るため、これらの方策を政争の具とすることなく、超党派による真摯かつ速やかな議論を進め、今特別国会(特別会)において皇室典範の改正を実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月24日

滋賀県蒲生郡日野町議会

議長 杉浦 和人